対象者の皆様へ

江戸川区帯状疱疹ワクチン任意予防接種費用の一部助成事業

帯状疱疹ワクチン予防接種（任意接種）のお知らせ

帯状疱疹ワクチンは現在、予防接種法に基づかない任意の予防接種となっており、接種の義務はありません。接種を受けるかどうかはご自身の健康状態などを考慮した上で、ご判断ください。

1 帯状疱疹とは

帯状疱疹は、水ぶくれを伴う発疹（水疱）が、皮膚に分布している神経に沿って帯状に出現する疾患です。水痘（みずぼうそう）にかかった後、体内に潜伏していたウイルスが再活性化することにより発症します。皮膚に水疱が見られる 2～3 日前から痒みや痛みを感じるようになり、1 週間程度たつと水疱の多発や発熱、頭痛といった症状がみられることもあります。通常は 2～4 週間で皮膚症状が治まりますが、皮膚症状が治った後も長い間痛みが残る帯状疱疹後神経痛になる可能性があります。初期の抗ウイルス薬投与による治療が効果的です。

2 助成対象者

接種日時点で江戸川区に住民登録があり、年齢が満 50 歳以上である方
※すでにこの帯状疱疹ワクチンの助成を受けたことがある方は対象外です。

3 助成金額および助成回数について

接種するワクチンによって助成金額および助成回数が異なります。

	生ワクチン（1 回接種）	**不活化ワクチン**（2 回接種）
助成金額	1 回につき 5,000 円	1 回につき 10,000 円
助成回数	1 回まで	2 回まで

※接種費用からワクチンの種類に応じた助成額を差し引いた額を医療機関にお支払いください。接種費用は医療機関によって異なります。
※予診のみの方は助成の対象から除きます。
※区の費用助成は、生涯に一度、かつ、いずれか一方のワクチンに限られます。

4 予防接種の場所・日時

江戸川区の指定医療機関で受けてください。日時は医療機関によって異なりますので、あらかじめ連絡して確かめてください。（帯状疱疹ワクチン任意予防接種費用一部助成は、**<u>江戸川区独自の制度のため江戸川区内の指定医療機関に限られます</u>**）

5 ワクチンの特徴と副反応

	生ワクチン（乾燥弱毒生水痘ワクチン） 販売名：ビケン	**不活化ワクチン**（乾燥組換え帯状疱疹ワクチン） 販売名：シングリックス
発症予防効果	50～59 歳で 69.8%、60 歳以上で 51.3%　※1	50 歳以上で 97.2%、70 歳以上で 89.8%　※2
効果期間	5 年　※3	10 年　※4
接種方法	皮下注射	筋肉内注射
副反応	注射部位の紅斑、かゆみ、熱感、腫脹、疼痛、硬結、全身の倦怠感、発疹など。 非常にまれにアナフィラキシー、血小板減少性紫斑病、無菌性髄膜炎など重篤な副反応が現れることがあります。※2	注射部位の疼痛、発赤、腫脹、全身の筋肉痛、疲労、頭痛など。 非常にまれにショック、アナフィラキシーなど重篤な副反応が現れることがあります。※2

※1　『国立感染症研究所　帯状疱疹ワクチンファクトシート（平成 29 年 2 月 10 日）』より引用
※2　『ワクチン添付文書（「ビケン」2022 年 1 月改定(第 3 版)、「シングリックス」2023 年 6 月改定(第 2 版)）』より引用
※3　『武田薬品工業株式会社　乾燥弱毒生水痘ワクチン「ビケン」に関する Q&A（2022 年 1 月）』より引用
※4　『グラクソ・スミスクライン株式会社　ホームページ　プレスリリース（2022 年 10 月 20 日）』より引用

（裏面へ続く）

6 下記に該当する方は予防接種を受けることができません

① 明らかな発熱がある方（接種場所で計った体温が 37.5℃以上の場合）
② 重篤な急性疾患にかかっていることが明らかな方
③ 今までに予防接種をうけて、アナフィラキシーを起こしたことのある方
（アナフィラキシーとは、通常 30 分以内に起こるひどいアレルギー反応のこと）
④ その他、医師が予防接種を行うことが不適当であると判断した場合

【以下⑤・⑥は**生ワクチン**のみ該当】
⑤ 明らかに免疫機能に異常のある疾患にかかっている方および免疫抑制をきたす治療を受けている方
⑥ 妊娠していることが明らかな方

7 よく相談しなくてはならない方

① 心臓血管系疾患、腎臓疾患、肝臓疾患、血液疾患などで治療を受けている方
② 過去に予防接種で接種後 2 日以内に発熱、発疹、じんましんなどアレルギーを疑う症状のみられた方
③ 接種するワクチンの成分に対し、アレルギーを起こすおそれのある方
④ 過去にけいれんをおこしたことがある方
⑤ 過去に免疫状態の異常を指摘されたことのある方もしくは近親者が先天性免疫不全症である方
⑥ 妊娠している可能性のある方、授乳中の方
⑦ **不活化ワクチン**を接種される方で、血小板が少ない方や出血しやすい方（筋肉内注射のため）

8 予防接種を受けたあとは

① 接種後 30 分程度はアナフィラキシーが起こることがありますので、医師とすぐに連絡がとれるようにしておいてください。
② 接種後４週間は、副反応の出現に注意してください。
③ 接種部位は清潔に保ちましょう。入浴は差し支えありませんが、注射した部位はこすらないでください。
④ 接種当日の激しい運動は避けてください。
⑤ 接種後、接種部位に異常な反応や体調の変化があった場合は、医師の診断を受けてください。
⑥ **生ワクチン**を接種された方は、接種後２か月程度は妊娠しないように注意してください。

9 接種間隔などについて

生ワクチン	他の生ワクチンを接種した方は 27 日以上の間隔をあけて接種してください。
不活化ワクチン	**2回目の接種は、1回目の接種から2か月後に接種してください。**２か月を超えた場合であっても６か月後までに２回目を接種してください。

※なお、新型コロナウイルスワクチンとは、同時接種できません。また、新型コロナウイルスワクチンとの接種間隔は、前後２週間以上です。

10 予防接種による健康被害救済制度

区で費用助成をしている任意予防接種で健康被害が生じた場合は、（独）医薬品医療機器総合機構法及び特別区自治体総合賠償責任保険に基づく救済制度を受けることができます。

≪これから帯状疱疹の予防接種を考えている方へのお知らせ≫

◆ 予防接種の場所・日時

江戸川区の指定医療機関で接種してください。日時は医療機関によって異なりますので、あらかじめ連絡して確かめてください。

◆ 接種の手順

接種当日は、年齢と江戸川区民であることを確認しますので、公的な書類（マイナンバーカード、運転免許証、健康保険証等）を必ず窓口にご提示ください。医療機関に設置してある予診票をよく読んで必要事項を記入し、医師と相談したうえで接種していただきます。

◆ 不活化ワクチンを接種する方へお願い

１回目の接種後、医療機関からお渡しする**「接種済証」を必ず保管**していただき、2 回目接種日に医療機関に必ずお持ちください。

お問い合わせ	江戸川区 健康部 健康サービス課 健康サービス係（江戸川保健所内）　電話 03-5661-2473